

八街市農産物ブランド化・生涯学習・健康の推進について

誠和会

林 修三



八街市農産物のブランド化の推進について

問 八街市は落花生、ニンジン、スイカ、里芋など全国に誇る農産物がいっぱいある。そこで、八街市農産物ブランド化支援班の設置の考え及び八街市農産物ブランド化促進計画と組織連携について伺う。

市長 ニンジン、スイカ、里芋など全国に誇る農産物がいっぱいある。そこで、八街市農産物ブランド化支援班の設置の考え及び八街市農産物ブランド化促進計画と組織連携について伺う。

市長 農産物ブランド化支援班の設置及び農産物ブランド化推進計画について、現在計画する考えはありますが、組織連携については、八街市、佐倉市、四街道市といんば農業協同組合で組織する「3市農業振興連絡協議会」があり、組織連携を図っています。また、いんば農業協同組合が販売する「キヤロットフルーツジュース」や、平成21年度から一般栽培ができるようになった「おおまさり」については、ブランド化に向けた連携も、今後、関係機関と図っていきたく

いと考えています。全国ブランド化推進都市との連携について伺う。

市長 全国ブランド化推進都市との連携について、現在積極的な取り組みは行っていないませんが、落花生については、県において地元商品の育成と定着化に貢献すると思われる商品開発や販路拡大等の戦略的なマーケティング研修会及び商談会等、多くの機会が企画されていますので、有効に活用していきたいと考えています。

市長 生涯学習の充実のための公民館の運営について伺う。

市長 生涯学習の充実のための公民館の運営について伺う。

生涯学習の充実について

問 生涯学習の充実のための公民館の運営について伺う。

教育長職務代理者

たくさんの講座を開催していますが、その各講座が終了しますと、参加者からアンケートをとっています。そういうアンケートや公民館利用者からの要望等も取り入れながら、公民館運営審議会委員の意見等も伺い、1年間の事業等を決定し、実施しています。

市民の声がとどく街づくりを

日本共産党

右山 正美



第2次基本計画について

問 計画づくりにあたって、地域懇談会で会議のあり方や問題提起の仕方、参加人数など問題を残しているが、市民の声が反映されるのか伺う。

市長 市民要望の優先的に位置づけていきます。

問 市民アンケートでは、交通の利便・福祉の充実を望んでいるがどのように応えるのか伺う。

市長 「安心快適プラン」で暮らしの安心や快適環境の確保、「魅力創造プラン」で交通環境の整備を掲げることとしています。

問 駅北側区画整理事業及び関連事業は、財政縮減のなかでも進めていくのか伺う。

市長 引き続き事業完了に向け努力し、関連事業として、大池第三雨水幹線整備を進めます。

国保税の収納率

問 全国ワースト1、介護保険料収納率県下ワースト1、市県民税収納率県下最下位グループという状況は市民の担税力の限界であり、ワースト1脱脚のために、市民生活の実態に合った軽減対策を実施すべきだが如何か。

市長 市税等の収納率向上は市民のご理解ご協力が不可欠と考えています。

国民健康保険について

問 国保法44条、77条の税の減免の活用について伺う。失業や倒産、急激な収入減、広範な低所得者の減免を求めると同時に住民への周知徹底を図り活用をすべきだが如何か。

市長 取扱要綱に基づき適切に運用していきます。資格証明書発行について、生活困窮者からの保険証取り上げは国保法の趣旨に反し、適切な運用を求めると如何か。

市長 必要な制度であり、今後平成16年度の保険料率の改正は、均等割・平等割を大幅に引き上げた。その結果、滞納世帯が増加している。払える国保税にするために引き下げを求めるが如何か。

市長 見直しについては、国保財政の現状を検証し、今後検討していきたいと考えています。

新型インフルエンザについて

問 幼児・小学生・中学生の予防接種は、2回で6千150円。経済的理由で予防接種を受けられないという事があつてはならない。県内でも軽減を図っている自治体があり、本市においても助成を求めるが如何か。

市長 国や県の動向を見守りながら対応したいと考えています。